

# 教育・保育の量の見込みに対する 確保方策について

平成29年11月

(3) 量の見込み(女性就業率考慮後)と現状の利用定員の比較[全域]

(単位:人)

区分	認定区分	H30				H31					
		再推計 児童数	認定再推計		再推計 児童数	認定再推計					
			号別人数	年齢別人数		号別割合	年齢別割合	号別人数	年齢別人数	号別割合	年齢別割合
量の見込み	1号	11,507	1,842	8,754	16.0%	76.1%	11,201	1,746	8,791	15.6%	78.5%
	2号		3,856		33.5%			3,930		35.1%	
	3号(0歳)		531		4.6%			570		5.1%	
	3号(1・2歳)		2,525		21.9%			2,545		22.7%	
計画	1号(2号(★教育)を含む。)	12,186	2,195	9,322	18.0%	76.5%	12,083	2,196	9,264	18.2%	76.7%
	2号(☆以外)		3,740		30.7%			3,743		31.0%	
	3号(0歳)		962		7.9%			940		7.8%	
	3号(1・2歳)		2,425		19.9%			2,385		19.7%	
かい離 [見込み 対計画]	1号(2号(★教育)を含む。)	679	353	568	2.0%	0.4%	882	450	473	2.6%	▲ 1.8%
	2号(☆以外)		▲ 116		▲ 2.8%			▲ 187		▲ 4.1%	
	3号(0歳)		431		3.3%			370		2.7%	
	3号(1・2歳)		▲ 100		▲ 2.0%			▲ 160		▲ 3.0%	
利用定員	1号	11,507	2,591	9,454	22.5%	82.2%	11,201	2,591	9,454	23.1%	84.4%
	2号		3,810		33.1%			3,810		34.0%	
	3号(0歳)		841		7.3%			841		7.5%	
	3号(1・2歳)		2,212		19.2%			2,212		19.7%	
かい離 [見込み 対定員]	1号	-	749	700	6.5%	6.1%	-	845	663	7.5%	5.9%
	2号		▲ 46		▲ 0.4%			▲ 120		▲ 1.1%	
	3号(0歳)		310		2.7%			271		2.4%	
	3号(1・2歳)		▲ 313		▲ 2.7%			▲ 333		▲ 3.0%	

女性就業率の向上を考慮した量の見込みに対しても、  
利用定員の総数は上回っており、認定区分ごとの偏在の解消が課題

(3) 量の見込み(女性就業率考慮後)と現状の利用定員の比較[全域] 《参考推計 H38まで》 (単位:人)

年齢	認定区分	H32								H33								H34									
		再推計児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計児童数	認定再推計(女性就業率)														
			号別人数	2・3号	3号	年齢別割合		号別人数	2・3号	3号	年齢別割合		号別人数	2・3号	3号	年齢別割合											
量の見込み	1号	1,708			15.7%				10,473	1,654			15.8%				10,023	1,576			15.7%						
	2号	3,824			35.2%			8,698	3,708			35.4%			8,510	3,546			35.4%				8,245	3,546			35.4%
	3号(0歳)	603	6,990	3,166	5.6%	64.4%	29.2%	80.1%	634	6,856	3,148	6.1%	65.5%	30.1%	81.3%	660	6,669	3,123	6.6%	66.5%	31.2%	82.3%	660	6,669	3,123	6.6%	
	3号(1・2歳)	2,563			23.6%				2,514			24.0%			2,463			24.6%					2,463			24.6%	
利用定員	1号	2,591			23.9%			9,454	2,591			24.7%			9,454	2,591			25.9%				9,454	2,591			25.9%
	2号	3,810			35.1%			10,473	3,810			36.4%			10,473	3,810			38.0%				10,473	3,810			38.0%
	3号(0歳)	841	6,863	3,053	7.7%	63.2%	28.1%	87.0%	841	6,863	3,053	8.0%	65.5%	29.2%	90.3%	841	6,863	3,053	8.4%	68.5%	30.5%	94.3%	841	6,863	3,053	8.4%	
	3号(1・2歳)	2,212			20.4%				2,212			21.1%			2,212			22.1%					2,212			22.1%	
かい離 [見込み 対定員]	1号	883			8.1%			7,568	937			8.9%			9,444	1,015			10.1%				10,023	1,015			10.1%
	2号	▲14			▲0.1%			7,568	102			1.0%			9,444	264			2.6%				10,023	264			2.6%
	3号(0歳)	238	▲127		2.1%	▲1.2%	▲1.0%	7.0%	207	7	▲95	2.0%	0.1%	▲0.9%	9.0%	181	194	1.8%	1.9%	▲0.7%	12.1%	181	194	1.8%	▲0.7%	12.1%	
	3号(1・2歳)	▲351		▲113	▲3.2%				▲302			▲2.9%			▲251	▲70		▲2.5%					▲251	▲70		▲2.5%	

年齢	認定区分	H35								H36								H37											
		再推計児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計児童数	認定再推計(女性就業率)																
			号別人数	2・3号	3号	年齢別割合		号別人数	2・3号	3号	年齢別割合		号別人数	2・3号	3号	年齢別割合													
量の見込み	1号	1,528			15.8%				9,311	1,469			15.8%				8,962	1,413			15.8%				8,962	1,413			15.8%
	2号	3,431			35.5%			7,886	3,304			35.5%			7,676	3,176			35.4%				7,473	3,176			35.4%		
	3号(0歳)	684	6,358	2,927	7.1%	65.7%	30.3%	81.5%	709	6,207	2,903	7.6%	66.7%	31.2%	82.4%	730	6,060	2,884	8.1%	67.6%	32.2%	83.4%	730	6,060	2,884	8.1%			
	3号(1・2歳)	2,243			23.2%				2,194			23.6%			2,154			24.0%					2,154			24.0%			
利用定員	1号	2,591			26.8%			9,454	2,591			27.8%			9,454	2,591			28.9%				9,454	2,591			28.9%		
	2号	3,810			39.4%			10,473	3,810			40.9%			10,473	3,810			42.5%				10,473	3,810			42.5%		
	3号(0歳)	841	6,863	3,053	8.7%	70.9%	31.6%	97.7%	841	6,863	3,053	9.0%	73.7%	32.8%	101.5%	841	6,863	3,053	9.4%	76.6%	34.1%	105.5%	841	6,863	3,053	9.4%			
	3号(1・2歳)	2,212			22.9%				2,212			23.8%			2,212			24.7%					2,212			24.7%			
かい離 [見込み 対定員]	1号	1,063			11.0%			1,568	1,122			12.1%			1,981	1,178			13.1%				1,981	1,178			13.1%		
	2号	379			3.9%			1,568	506			5.4%			1,981	634			7.1%				1,981	634			7.1%		
	3号(0歳)	157	505	126	1.6%	5.2%	1.3%	16.2%	132	656	150	1.4%	7.0%	1.6%	19.1%	111	803	169	1.2%	9.0%	1.9%	22.1%	111	803	169	1.2%			
	3号(1・2歳)	▲31			▲0.3%				18			0.2%			58			0.6%					58			0.6%			

年齢	認定区分	H38																											
		再推計児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計児童数	認定再推計(女性就業率)																					
			号別人数	2・3号	3号	年齢別割合		号別人数	2・3号	3号	年齢別割合																		
量の見込み	1号	1,359			15.7%				8,637	1,359			15.7%				8,637	1,359			15.7%				8,637	1,359			15.7%
	2号	3,052			35.3%			7,280	3,052			35.3%			7,280	3,052			35.3%				7,280	3,052			35.3%		
	3号(0歳)	751	5,921	2,869	8.7%	68.6%	33.2%	84.3%	751	5,921	2,869	8.7%	68.6%	33.2%	84.3%	751	5,921	2,869	8.7%	68.6%	33.2%	84.3%	751	5,921	2,869	8.7%			
	3号(1・2歳)	2,118			24.5%				2,118			24.5%			2,118			24.5%					2,118			24.5%			
利用定員	1号	2,591			30.0%			9,454	2,591			30.0%			9,454	2,591			30.0%				9,454	2,591			30.0%		
	2号	3,810			44.1%			10,473	3,810			44.1%			10,473	3,810			44.1%				10,473	3,810			44.1%		
	3号(0歳)	841	6,863	3,053	9.7%	79.5%	35.3%	109.5%	841	6,863	3,053	9.7%	79.5%	35.3%	109.5%	841	6,863	3,053	9.7%	79.5%	35.3%	109.5%	841	6,863	3,053	9.7%			
	3号(1・2歳)	2,212			25.6%				2,212			25.6%			2,212			25.6%					2,212			25.6%			
かい離 [見込み 対定員]	1号	1,232			14.3%			2,174	1,232			14.3%			2,174	1,232			14.3%				2,174	1,232			14.3%		
	2号	758			8.8%			2,174	758			8.8%			2,174	758			8.8%				2,174	758			8.8%		
	3号(0歳)	90	942	184	1.0%	10.9%	2.1%	25.2%	90	942	184	1.0%	10.9%	2.1%	25.2%	90	942	184	1.0%	10.9%	2.1%	25.2%	90	942	184	1.0%			
	3号(1・2歳)	94			1.1%				94			1.1%			94			1.1%				94			1.1%				

H36には、現状の利用定員であっても  
総数のみならず、認定区分ごとでも  
充足する見込み

# I 確保方策

## (1) 現状と今後の見込み

本市における就学前児童数は、出生率は横ばいであるものの、女性人口(15～49歳)の減少に伴い出生数は減少しており、右肩下がりの状況にある。

また、人口動態では、親世代である20～30歳前後の年代の減少が顕著であり、転出による社会減が要因と推察される。

子ども・子育て新制度による支給認定を受けている児童の割合は、保護者の就労に伴い増加傾向にある。しかし、児童数では減少しているため、教育・保育サービスとしては、認定区分ごとの偏在はあるものの、総量としては充足している状況にある。

この児童数の減少傾向及び認定割合の増加傾向を基に行った量の見込みの推計では、国の女性就業率80%の目標を考慮してもなお、総量としては充足する見込みであることに加え、10年後の平成38年度には、約3,200人、27%の児童が減少することが推計されたことから、**市全体としては、新たな教育・保育サービスの増加は不要である**と言える。

しかしながら、現に待機児童が発生している状況に加え、近年区画整理事業等が実施された地域では教育・保育施設等がない空白地域(別図参照)があり、認定区分や提供区域ごとに見た場合には、不足する認定区分や区域があるため、認定区分及び区域ごとにきめ細やかな確保方策を設定する必要がある。

よって、これまでの一律の確保方策を見直し、**区域ごとに確保方策を定める**こととする。

# I 確保方策

## (2) 今後の確保方策〔区域共通〕

### ① 幼稚園の認定こども園への移行及び2歳児の受入れ推進

国は、平成29年6月に「子育て安心プラン」を公表し、幼稚園における2歳児等の受入れ推進を図るため、幼稚園から認定こども園に移行するなどの際に0・1歳児を対象としないことなどの対応を行い、併せて、幼稚園設置基準（面積要件）の緩和や認可定員超過による公定価格の減算ルールの柔軟な取扱いが示された。

本市においても、この既存制度・事業の運用の柔軟化により、認定こども園に移行していない幼稚園が認定こども園に移行するなど、2歳児の受入れが推進されることが見込まれることから、幼稚園における3号認定の2歳児を受入れを次のように見込むこととする。

#### 幼稚園における2歳児の受入可能数

利用定員数が105人以下の幼稚園一施設当たり 6人、  
105人超の幼稚園一施設当たり12人を見込む。

※認定こども園及び保育所の2歳児に対する職員の配置基準がおおむね6人につき一人であることから、105人超の利用定員を設定している幼稚園（年齢別に複数学級を想定している幼稚園）にあつては職員二人分相当を、105人以下の幼稚園にあつては職員一人分相当を受入可能数と見込む。

#### ■ 幼稚園の2歳児受入れ推進による確保見込数 （単位：人）

年度	H30	H31
	3号（2歳）	3号（2歳）
全域	0	96
東部	0	54
南部・中部	0	30
西部・北部	0	12
浪岡	0	0

# I 確保方策

## ②施設整備等による利用定員の増

本市では、これまでも保育所の増改築又は増築に対する支援を行い、施設整備に併せた利用定員の増(不足する3号認定の増)を図ってきたところである。今後においても施設整備の需要が見込まれることから、引き続き、施設整備に併せた利用定員の増を図ることとし、施設に対して行ったアンケートによる意向結果を踏まえ、その増加数を次のように見込む。

### ■施設整備等による確保見込数

(単位:人)

年度	H30				H31			
	1号	2号	3号 (0歳)	3号 (1・2歳)	1号	2号	3号 (0歳)	3号 (1・2歳)
全域	▲ 13	28	17	28	▲ 7	73	17	45
東部	0	0	0	0	0	3	0	3
南部・中部	0	14	9	14	3	35	9	22
西部・北部	▲ 18	10	7	12	▲ 15	31	7	18
浪岡	5	4	1	2	5	4	1	2

注 H30の見込数は、29年度に整備が完了する見込みの7施設分の増減数であり、  
H31の見込数は、H30の見込数に、30年度に整備が見込まれる4施設分(※)を加えた増減数である。

※支援(補助採択)を約するものではない。

# I 確保方策

## ③利用定員設定の適正化

平成29年4月1日時点での利用定員と入所者数を比較すると次の表のとおりであり、年齢別にかい離が生じている。施設の入所動向に応じた利用定員の設定を行うことで、2号・3号認定間の偏在の解消が図れることから、施設に対し利用定員設定の適正化を要請する。

(単位:人)

区域		2号				3号				合計
		5歳	4歳	3歳	計	2歳	1歳	0歳	計	
全域	利用定員	1,315	1,247	1,248	3,810	1,151	1,061	841	3,053	6,863
	入所者数	1,295	1,261	1,282	3,838	1,208	1,100	481	2,789	6,627
	差引	20	▲ 14	▲ 34	▲ 28	▲ 57	▲ 39	360	264	236
東部	利用定員	248	234	241	723	221	207	159	587	1310
	入所者数	247	232	234	713	244	210	112	566	1279
	差引	1	2	7	10	▲ 23	▲ 3	47	21	31
南部・中部	利用定員	539	519	516	1,574	459	425	356	1,240	2,814
	入所者数	552	528	482	1,562	495	440	207	1,142	2,704
	差引	▲ 13	▲ 9	34	12	▲ 36	▲ 15	149	98	110
西部・北部	利用定員	415	389	387	1,191	358	323	247	928	2119
	入所者数	386	405	442	1,233	382	352	136	870	2103
	差引	29	▲ 16	▲ 55	▲ 42	▲ 24	▲ 29	111	58	16
浪岡	利用定員	113	105	104	322	113	106	79	298	620
	入所者数	110	96	124	330	87	98	26	211	541
	差引	3	9	▲ 20	▲ 8	26	8	53	87	79

# I 確保方策

## ④認可外保育施設の地域型保育事業への移行等

国では、保育の質の確保の観点から認可外施設の認可保育所等への移行支援を行うとともに、企業主導による多様な就労形態等に対応した多様な保育の支援を行っているところである。

本市の認可外保育施設は、19施設(H29.4.1現在)あり、264人(H29.6.1現員数)の就学前児童が保育され、うち12施設(173人)は、企業等が従業員に対する福利厚生を目的とした事業所内施設である。

特に、平成28年度に新設された、国が市町村を介さず直接支援する「企業主導型事業所内保育事業」は、急速に普及しており、行政や教育・保育関係者のみならず、企業も含めた社会全体で、子ども・子育て支援に取り組む土壌が形成されつつある。

このような社会の動向も踏まえ、本市においても、教育・保育施設による必要数の確保を基本としつつも、保育の質が確保された地域型保育事業によっても確保することし、認可外保育施設に対するアンケート調査の結果を踏まえ、次のとおり見込むものとする。

### ■認可外保育施設の地域型保育事業への移行等による確保見込数 (単位:人)

年度	H30		H31	
	3号(0歳)	3号(1・2歳)	3号(0歳)	3号(1・2歳)
全域	0	0	19	54
東部	0	0	0	6
南部・中部	0	0	6	16
西部・北部	0	0	3	12
浪岡	0	0	10	20

注 H31の見込数は、移行希望を示した施設の定員数である。(※) ※認可を約するものではない。



# I 確保方策

## (3) 確保方策が達成できるまでの措置(定員の弾力化の継続(※))

子ども・子育て支援事業計画を策定するに当たり、計画に定める確保方策は認可定員の範囲内で設定する利用定員ベースで記載することされ、定員弾力化を前提として確保方策を定めることはできないものである。

本市では、この国の考え方にに基づき、定員弾力化の段階的な縮小を目指し、保育所及び認定こども園(保育部分)に対し定員変更等を求めてきたが、0歳から3歳までの認定割合の増加傾向に伴い、利用定員を超えた入所措置を行ってきたところである。

### ■入所率(他自治体からの広域入所を含む)

(単位:%)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H27	102.97	104.33	105.15	106.15	107.11	108.05	109.15	109.31	110.05	110.11	110.28	110.50	107.76
H28	101.12	102.16	103.13	104.14	104.68	105.37	106.11	106.65	106.85	106.87	107.29	106.65	105.09
H29	97.25	98.54	99.33	100.51	101.59	102.33	103.24						
平均	100.45	101.68	102.54	103.60	104.46	105.25	106.17	107.98	108.45	108.49	108.79	108.58	106.43

しかし、

○この定員超過入所措置を行ってもなお年度途中には待機児童が発生していること

○国においては、定員超過入所(年間平均在所率120%以上)に係る公定価格の減算措置について緩和(連続する過去2年度間→5年度間)すること

から、計画に定める確保方策が達成できるまでの当分の間、年度途中入所への対応を中心に定員の弾力化を継続することとする。

※定員の弾力化 児童福祉施設最低基準を満たしていることを条件に、定員を超えて入所できるようにすることをいう。年度当初においてはおおむね認可定員に15%、年度途中においてはおおむね認可定員に25%を乗じて得た員数の範囲内で、さらに年度後半(10月以降)は認可定員に25%を乗じて得た員数を超えて保育の実施を行っても差し支えないとされている。

## Ⅱ 区域ごとの確保方策

### (1) [東部]

#### ①量の見込み(女性就業率考慮後)と利用定員の比較

(単位:人)

区分	認定区分	H30					H31				
		再推計 児童数	認定再推計				再推計 児童数	認定再推計			
			号別人数	年齢別人数	号別割合	年齢別割合		号別人数	年齢別人数	号別割合	年齢別割合
量の 見込み	1号	2,757	480	1,822	17.4%	66.1%	457	1,849	16.8%	67.9%	
	2号		712		25.8%		722		26.5%		
	3号(0歳)		126		4.6%		139		5.1%		
	3号(1・2歳)		504		18.3%		531		19.5%		
計画	1号(2号(★教育)を含む。)	2,952	622	2,032	21.1%	68.8%	622	2,021	21.2%	69.0%	
	2号(☆以外)		751		25.4%		751		25.6%		
	3号(0歳)		202		6.8%		198		6.8%		
	3号(1・2歳)		457		15.5%		450		15.4%		
かい離 [合計 対計画]	1号(2号(★教育)を含む。)	195	142	210	3.7%	2.7%	165	172	4.5%	1.1%	
	2号(☆以外)		39		▲ 0.4%		29		▲ 0.9%		
	3号(0歳)		76		2.3%		59		1.7%		
	3号(1・2歳)		▲ 47		▲ 2.8%		▲ 81		▲ 4.1%		
利用定員	1号	2,757	851	2,161	30.9%	78.4%	851	2,161	31.3%	79.4%	
	2号		723		26.2%		723		26.6%		
	3号(0歳)		159		5.8%		159		5.8%		
	3号(1・2歳)		428		15.5%		428		15.7%		
かい離 [合計 対定員]	1号	-	371	339	13.5%	12.3%	394	312	14.5%	11.5%	
	2号		11		0.4%		1		0.0%		
	3号(0歳)		33		1.2%		20		0.7%		
	3号(1・2歳)		▲ 76		▲ 2.8%		▲ 103		▲ 3.8%		

利用定員の総数は上回っているが、3号(1・2歳)が不足

## Ⅱ 区域ごとの確保方策

### (1) [東部]

#### ①量の見込み(女性就業率考慮後)と現状の利用定員の比較

《参考推計 H38まで》

(単位:人)

年齢	認定区分	H32								H33								H34							
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)												
		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	再推計 児童数	号別 人数	2・3号	3号	年齢別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	再推計 児童数	号別 人数	2・3号	3号	年齢別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	
量の 見込み	1号	445			16.7%				432				16.7%				412				16.4%				
	2号	705			26.4%				682				26.4%				651				25.9%				
	3号(0歳)	147	1,387		5.5%	52.0%		68.7%	154	1,361			6.0%	52.6%		69.3%	160	1,325			6.4%	52.7%		69.1%	
	3号(1・2歳)	535		682	20.1%		25.6%		525		679		20.3%		26.2%		514		674		20.5%		26.8%		
利用定員	1号	851			31.9%				851				32.9%				851				33.9%				
	2号	723			27.1%				723				27.9%				723				28.8%				
	3号(0歳)	159	1,310		6.0%	49.1%		22.0%	159	1,310			6.1%	50.6%		22.7%	159	1,310			6.3%	52.1%		23.4%	
	3号(1・2歳)	428		587	16.0%		81.0%		428		587		16.5%		17.0%		428		587		17.0%		23.4%		
かい離 [見込み 対定員]	1号	406			15.2%				419				16.2%				439				17.5%				
	2号	18			0.7%				41				1.6%				72				2.9%				
	3号(0歳)	12	▲ 77		0.4%	▲ 2.9%		12.3%	5	▲ 51			0.2%	▲ 2.0%		▲ 3.6%	▲ 1	▲ 15			▲ 0.0%	▲ 0.6%		▲ 3.5%	
	3号(1・2歳)	▲ 107		▲ 95	▲ 4.0%				▲ 97		▲ 92		▲ 3.7%		▲ 3.6%		▲ 86		▲ 87		▲ 3.4%		▲ 3.5%		

年齢	認定区分	H35								H36								H37							
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)												
		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	再推計 児童数	号別 人数	2・3号	3号	年齢別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	再推計 児童数	号別 人数	2・3号	3号	年齢別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	
量の 見込み	1号	399			16.5%				384				16.4%				368				16.4%				
	2号	631			26.0%				608				26.0%				583				25.9%				
	3号(0歳)	166	1,266		6.8%	52.2%		26.2%	172	1,238			7.4%	53.0%		27.0%	177	1,210			7.9%	53.8%		27.9%	
	3号(1・2歳)	469		635	19.3%		26.2%		458		630		19.6%		27.0%		450		627		20.0%		27.9%		
利用定員	1号	851			35.1%				851				36.4%				851				37.9%				
	2号	723			29.8%				723				31.0%				723				32.2%				
	3号(0歳)	159	1,310		6.6%	54.0%		24.2%	159	1,310			6.8%	56.1%		25.1%	159	1,310			7.1%	58.3%		26.1%	
	3号(1・2歳)	428		587	17.6%		89.1%		428		587		18.3%		19.0%		428		587		19.0%		26.1%		
かい離 [見込み 対定員]	1号	452			18.6%				467				20.0%				483				21.5%				
	2号	92			3.8%				115				4.9%				140				6.2%				
	3号(0歳)	▲ 7	44		0.3%	1.8%		20.5%	▲ 13	72			▲ 0.6%	3.1%		▲ 1.8%	▲ 18	100			▲ 0.8%	4.5%		▲ 1.8%	
	3号(1・2歳)	▲ 41		▲ 48	▲ 1.7%				▲ 30		▲ 43		▲ 1.3%		▲ 1.8%		▲ 22		▲ 40		▲ 1.0%		▲ 1.8%		

年齢	認定区分	H38							
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)						
		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	
量の 見込み	1号	355			16.4%				
	2号	562			26.0%				
	3号(0歳)	183	1,187		8.5%	54.9%		71.3%	
	3号(1・2歳)	442		625	20.4%		28.9%		
利用定員	1号	851			39.3%				
	2号	723			33.4%				
	3号(0歳)	159	1,310		7.3%	60.5%		99.9%	
	3号(1・2歳)	428		587	19.8%		27.1%		
かい離 [見込み 対定員]	1号	496			22.9%				
	2号	161			7.4%				
	3号(0歳)	▲ 24	123		▲ 1.1%	5.7%		28.6%	
	3号(1・2歳)	▲ 14		▲ 38	▲ 0.6%		▲ 1.8%		

現状の利用定員では、H38でも  
3号認定が充足されない見込み

## Ⅱ 区域ごとの確保方策

### (1) [東部]

#### ② 認定区分、施設・事業ごとの考え方

##### (ア) 基本的な考え方

教育・保育サービスの総量としては充足しているため、原則、教育・保育施設等の新規認可等によらず、

○幼稚園の認定こども園への移行による2号・3号認定こどもの受入れ

○施設整備(増改築)等による既存施設の利用定員の増

○利用定員の設定の適正化

により認定区分ごとの偏在を解消し、必要数を確保することとする。

ただし、空白地域(浜館・虹ヶ丘・自由ヶ丘周辺)にあつては、必要に応じて施設の移転、分園設置等によりその解消を図る。

##### (イ) 教育・保育施設等の利用定員の考え方

1号認定 利用定員が量の見込みを上回っている(+394人)ことから、認定こども園への移行によるものを除き、新たな利用定員の増加を制限する。

2号認定 利用定員と量の見込みがほぼ同数である(+1人)ことから、施設の入所動向に応じた利用定員の増加を認める。

3号認定(0歳) 利用定員が量の見込みを上回っている(+20人)が、かい離が大きくないことから、施設の入所動向に応じた利用定員の増加を認める。

3号認定(1・2歳) 利用定員が量の見込みを下回っている(▲103人)ことから、既存施設に対して利用定員の増加及び定員の弾力化による児童の受入れを要請する。

##### (ウ) 地域型保育事業による確保の考え方

3号認定の利用定員の不足が見込まれるため(▲83人)、教育・保育施設での利用定員の偏在解消による必要数の確保を基本としつつも、保育の質が確保された地域型保育事業によっても確保することとする。

## Ⅱ 区域ごとの確保方策

### (2) [南部・中部]

#### ①量の見込み(女性就業率考慮後)と利用定員の比較

(単位:人)

区分	認定区分	H30					H31				
		再推計 児童数	認定再推計				再推計 児童数	認定再推計			
			号別人数	年齢別人数	号別割合	年齢別割合		号別人数	年齢別人数	号別割合	年齢別割合
量の 見込み	1号	4,450	776	3,578	17.4%	80.4%	4,283	722	3,558	16.9%	83.1%
	2号		1,563		35.1%			1,561		36.4%	
	3号(0歳)		231		5.2%			249		5.8%	
	3号(1・2歳)		1,008		22.7%			1,026		24.0%	
計画	1号(2号(★教育)を含む。)	4,765	955	4,085	20.0%	85.7%	4,724	955	4,057	20.2%	85.9%
	2号(☆以外)		1,547		32.5%			1,548		32.8%	
	3号(0歳)		414		8.7%			405		8.6%	
	3号(1・2歳)		1,169		24.5%			1,149		24.3%	
かい離 [合計 対計画]	1号(2号(★教育)を含む。)	315	179	507	2.6%	5.3%	441	233	499	3.4%	2.8%
	2号(☆以外)		▲ 16		▲ 2.7%			▲ 13		▲ 3.7%	
	3号(0歳)		183		3.5%			156		2.8%	
	3号(1・2歳)		161		1.9%			123		0.4%	
利用定員	1号	4,450	1,043	3,857	23.4%	86.7%	4,283	1,043	3,857	24.4%	90.1%
	2号		1,574		35.4%			1,574		36.7%	
	3号(0歳)		356		8.0%			356		8.3%	
	3号(1・2歳)		884		19.9%			884		20.6%	
かい離 [合計 対定員]	1号	-	267	279	6.0%	6.3%	-	321	299	7.5%	7.0%
	2号		11		0.2%			13		0.3%	
	3号(0歳)		125		2.8%			107		2.5%	
	3号(1・2歳)		▲ 124		▲ 2.8%			▲ 142		▲ 3.3%	

利用定員の総数は上回っているが、3号(1・2歳)が不足

## Ⅱ 区域ごとの確保方策

### (3) [南部・中部]

《参考推計 H38まで》

#### ①量の見込み(女性就業率考慮後)と利用定員の比較

(単位:人)

0.29	認定区分	H32												H33												H34											
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)								再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)								再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)																
			号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合									
量の 見込み	1号	705				17.0%				683				17.1%				650				17.0%															
	2号	1,520				36.6%			1,473				36.9%				1,409				36.9%																
	3号(0歳)	264	2,816		3,521	6.3%	67.7%		278	2,764		3,447	7.0%	69.3%		290	2,691		3,341	7.6%	70.4%		33.6%														
	3号(1・2歳)	1,032		1,296		24.8%		31.2%	1,013		1,291		25.4%		32.3%		992		1,282		26.0%																
利用定員	1号	1,043				25.1%			1,043				26.1%				1,043				27.3%																
	2号	1,574				37.9%			1,574				39.4%				1,574				41.2%																
	3号(0歳)	356	2,814		3,857	8.6%	67.7%		356	2,814		3,857	8.9%	70.5%		356	2,814		3,857	9.3%	73.6%		32.5%														
	3号(1・2歳)	884		1,240		21.3%		29.8%	884		1,240		22.1%		31.1%		884		1,240		23.1%																
かい離 [見込み 対定員]	1号	338				8.1%			360				9.0%				393				10.3%																
	2号	54				1.3%			101				2.5%				165				4.3%																
	3号(0歳)	92	▲ 2		336	2.2%	▲ 0.0%		78	50	▲ 51	410	2.0%	1.3%	▲ 1.3%		66	123		516	1.7%	3.2%	▲ 1.1%														
	3号(1・2歳)	▲ 148		▲ 56		▲ 3.6%			▲ 129				▲ 3.2%				▲ 108				▲ 2.8%																

年齢	認定区分	H35												H36												H37											
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)								再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)								再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)																
			号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合									
量の 見込み	1号	633				17.2%			608				17.1%				586				17.2%																
	2号	1,362				36.9%			1,313				37.0%				1,264				37.0%																
	3号(0歳)	300	2,567		3,200	8.1%	69.6%		310	2,509		3,117	8.7%	70.7%		320	2,451		3,037	9.4%	71.8%		34.7%														
	3号(1・2歳)	905		1,205		24.5%		32.7%	886		1,196		25.0%		33.7%		867		1,187		25.4%																
利用定員	1号	1,043				28.3%			1,043				29.4%				1,043				30.5%																
	2号	1,574				42.7%			1,574				44.4%				1,574				46.1%																
	3号(0歳)	356	2,814		3,857	9.7%	76.3%		356	2,814		3,857	10.0%	79.3%		356	2,814		3,857	10.4%	82.4%		36.3%														
	3号(1・2歳)	884		1,240		24.0%		33.6%	884		1,240		24.9%		35.0%		884		1,240		25.9%																
かい離 [見込み 対定員]	1号	410				11.1%			435				12.3%				457				13.4%																
	2号	212				5.7%			261				7.4%				310				9.1%																
	3号(0歳)	56	247		657	1.5%	6.7%		46	305	44	740	1.3%	8.6%	1.2%		36	363	53	820	1.1%	10.6%		1.6%													
	3号(1・2歳)	▲ 21				▲ 0.6%			▲ 2				▲ 0.1%				17				0.5%																

年齢	認定区分	H38											
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)										
			号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合			
量の 見込み	1号	563				17.1%							
	2号	1,211				36.8%							
	3号(0歳)	329	2,393		2,956	10.0%	72.6%						
	3号(1・2歳)	853		1,182		25.9%							
利用定員	1号	1,043				31.7%							
	2号	1,574				47.8%							
	3号(0歳)	356	2,814		3,857	10.8%	85.4%						
	3号(1・2歳)	884		1,240		26.8%		37.6%					
かい離 [見込み 対定員]	1号	480				14.6%							
	2号	363				11.0%							
	3号(0歳)	27	421		901	0.8%	12.8%						
	3号(1・2歳)	31		58		0.9%		1.8%					

H37には、現状の利用定員であって総数のみならず、認定区分ごとでも充足する見込み

### (2) [南部・中部]

#### ② 認定区分、施設・事業ごとの考え方

##### (ア) 基本的な考え方

教育・保育サービスの総量としては充足しているため、原則、教育・保育施設等の新規認可等によらず、

- 幼稚園の認定こども園への移行による2号・3号認定こどもの受入れ
- 施設整備(増改築)等による既存施設の利用定員の増
- 利用定員の設定の適正化

により認定区分ごとの偏在を解消し、必要数を確保することとする。

ただし、就学前児童数が直近3か年平均で10人以上増加するなど利用定員の不足が見込まれる地域(西大野周辺)にあっては、必要に応じて分園設置等によりその解消を図る。

##### (イ) 教育・保育施設等の利用定員の考え方

- 1号認定      利用定員が量の見込みを上回っている(+321人)ことから、認定こども園への移行によるものを除き、新たな利用定員の増加を制限する。
- 2号認定      利用定員と量の見込みがほぼ同数である(+13人)ことから、施設の入所動向に応じた利用定員の増減を認める。
- 3号認定(0歳)      利用定員が量の見込みを上回っている(+107人)が、待機児童が発生していることから、新たな利用定員の増加への制限は行わず、既存施設に対して1・2歳児への定員の割り振り変更を要請する。
- 3号認定(1・2歳)      利用定員が量の見込みを下回っている(▲142人)ことから、既存施設に対して利用定員の増加及び定員の弾力化による児童の受入れを要請する。

##### (ウ) 地域型保育事業による確保の考え方

3号認定の利用定員の不足が見込まれるため(▲83人)、教育・保育施設での利用定員の偏在解消による必要数の確保を基本としつつも、保育の質が確保された地域型保育事業によっても確保することとする。

## Ⅱ 区域ごとの確保方策

### (3) [西部・北部]

#### ①量の見込み(女性就業率考慮後)と利用定員の比較

(単位:人)

区分	認定区分	H30				H31					
		再推計 児童数	認定再推計			再推計 児童数	認定再推計				
			号別人数	年齢別人数	号別割合		年齢別割合	号別人数	年齢別人数	号別割合	年齢別割合
量の 見込み	1号	3,620	571	2,800	15.8%	77.3%	3,527	551	2,818	15.6%	79.9%
	2号		1,258		34.8%			1,310		37.1%	
	3号(0歳)		145		4.0%			150		4.3%	
	3号(1・2歳)		826		22.8%			807		22.9%	
計画	1号(2号(★教育)を含む。)	3,730	578	2,551	15.5%	68.4%	3,699	579	2,537	15.7%	68.6%
	2号(☆以外)		1,115		29.9%			1,117		30.2%	
	3号(0歳)		272		7.3%			265		7.2%	
	3号(1・2歳)		586		15.7%			576		15.6%	
かい離 [合計 対計画]	1号(2号(★教育)を含む。)	110	7	▲ 249	▲ 0.3%	▲ 9.0%	172	28	▲ 281	0.0%	▲ 11.3%
	2号(☆以外)		▲ 143		▲ 4.9%			▲ 193		▲ 6.9%	
	3号(0歳)		127		3.3%			115		2.9%	
	3号(1・2歳)		▲ 240		▲ 7.1%			▲ 231		▲ 7.3%	
利用定員	1号	3,620	666	2,785	18.4%	76.9%	3,527	666	2,785	18.9%	79.0%
	2号		1,191		32.9%			1,191		33.8%	
	3号(0歳)		247		6.8%			247		7.0%	
	3号(1・2歳)		681		18.8%			681		19.3%	
かい離 [合計 対定員]	1号	-	95	▲ 15	2.6%	▲ 0.4%	-	115	▲ 33	3.3%	▲ 0.9%
	2号		▲ 67		▲ 1.9%			▲ 119		▲ 3.4%	
	3号(0歳)		102		2.8%			97		2.8%	
	3号(1・2歳)		▲ 145		▲ 4.0%			▲ 126		▲ 3.6%	

利用定員の総数も不足する見込みであり、  
認定区分では、2号及び3号(1・2歳)が不足



## Ⅱ 区域ごとの確保方策

### (3) [西部・北部]

《参考推計 H38まで》

#### ①量の見込み(女性就業率考慮後)と利用定員の比較

(単位:人)

年齢	認定区分	H32								H33								H34							
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)												
		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合
量の 見込み	1号	542				15.9%				524				15.9%				499				16.0%			
	2号	1,271				37.3%				1,234				37.5%				1,182				37.9%			
	3号(0歳)	158	2,242		2,784	4.6%	65.8%	28.5%	81.7%	167	2,198		2,722	5.1%	66.7%	29.3%	82.6%	173	2,136		2,635	5.5%	68.4%	30.6%	84.4%
	3号(1・2歳)	813		971		23.9%				797		964		24.2%				781		954		25.0%			
利用定員	1号	666				19.5%				666				20.2%				666				21.3%			
	2号	1,191				34.9%				1,191				36.2%				1,191				38.2%			
	3号(0歳)	247	2,119		2,785	7.2%	62.2%	27.2%	81.7%	247	2,119		2,785	7.5%	64.3%	28.2%	84.5%	247	2,119		2,785	7.9%	67.9%	29.7%	89.2%
	3号(1・2歳)	681		928		20.0%				681		928		20.7%				681		928		21.8%			
かい離 [見込み 対定員]	1号	124				3.6%				142				4.3%				167				5.4%			
	2号	▲80				▲2.3%				▲43				▲1.3%				9				0.3%			
	3号(0歳)	89	▲123		1	2.6%	▲3.6%	▲1.3%	0.0%	80	▲79		63	2.4%	▲2.4%	▲1.1%	1.9%	74	▲17		150	2.4%	▲0.5%	▲0.8%	4.8%
	3号(1・2歳)	▲132		▲43		▲3.9%				▲116		▲36		▲3.5%				▲100		▲26		▲3.2%			

年齢	認定区分	H35								H36								H37							
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)				再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)												
		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合	号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合
量の 見込み	1号	483				16.0%				464				16.0%				447				16.0%			
	2号	1,143				38.0%				1,099				37.9%				1,057				37.9%			
	3号(0歳)	180	2,033		2,516	6.0%	67.5%	29.6%	83.6%	187	1,980		2,444	6.5%	68.3%	30.4%	84.3%	192	1,932		2,379	6.9%	69.3%	31.4%	85.3%
	3号(1・2歳)	710		890		23.6%				694		881		23.9%				683		875		24.5%			
利用定員	1号	666				22.1%				666				23.0%				666				23.9%			
	2号	1,191				39.6%				1,191				41.1%				1,191				42.7%			
	3号(0歳)	247	2,119		2,785	8.2%	70.4%	30.8%	92.5%	247	2,119		2,785	8.5%	73.1%	32.0%	96.1%	247	2,119		2,785	8.9%	76.0%	33.3%	99.9%
	3号(1・2歳)	681		928		22.6%				681		928		23.5%				681		928		24.4%			
かい離 [見込み 対定員]	1号	183				6.1%				202				7.0%				219				7.9%			
	2号	48				1.6%				92				3.2%				134				4.8%			
	3号(0歳)	67	86		269	2.2%	2.9%	1.3%	8.9%	60	139		341	2.1%	4.8%	1.6%	11.8%	55	187		406	2.0%	6.7%	1.9%	14.6%
	3号(1・2歳)	▲29				▲1.0%				▲13				▲0.4%				▲2				▲0.1%			

年齢	認定区分	H38							
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)						
		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合
量の 見込み	1号	429				16.0%			
	2号	1,017				37.8%			
	3号(0歳)	197	1,886		2,315	7.3%	70.2%	32.3%	86.1%
	3号(1・2歳)	672		869		25.0%			
利用定員	1号	666				24.8%			
	2号	1,191				44.3%			
	3号(0歳)	247	2,119		2,785	9.2%	78.8%	34.5%	103.6%
	3号(1・2歳)	681		928		25.3%			
かい離 [見込み 対定員]	1号	237				8.8%			
	2号	174				6.5%			
	3号(0歳)	50	233		470	1.9%	8.7%	2.2%	17.5%
	3号(1・2歳)	9		59		0.3%			

H38には、現状の利用定員であって総数のみならず、認定区分ごとでも充足する見込み

## Ⅱ 区域ごとの確保方策

### (4) [西部・北部]

#### ② 認定区分、施設・事業ごとの考え方

##### (ア) 基本的な考え方

教育・保育サービスの総量としては不足(▲33人)しているため、不足数が保育所の標準利用定員数(60人)より少ないため、原則、教育・保育施設の新規認可等によらず、

- 幼稚園の認定こども園への移行による2号・3号認定こどもの受入れ
- 施設整備(増改築)等による既存施設の利用定員の増
- 利用定員の設定の適正化

により認定区分ごとの偏在を解消し、必要数を確保することとする。

ただし、就学前児童数が直近3か年平均で10人以上増加するなど利用定員の不足が見込まれる地域(篠田、新城周辺)にあっては、上記の方策により必要数を確保することを基本としつつも、必要に応じて施設の分園設置等により確保する。

##### (イ) 教育・保育施設等の利用定員の考え方

- 1号認定            利用定員が量の見込みを上回っている(+115人)ことから、認定こども園への移行によるものを除き、新たな利用定員の増加を制限する。
- 2号認定            利用定員が量の見込みを下回っている(▲119人)ことから、既存施設に対して利用定員の増加及び定員の弾力化による児童の受入れを要請する。
- 3号認定(0歳)      利用定員が量の見込みが上回っている(+97人)が、待機児童が発生していることから、新たな利用定員の増加への制限は行わず、既存施設に対して1・2歳児への定員の割り振り変更を要請する。
- 3号認定(1・2歳)   利用定員が量の見込みを下回っている(▲126人)ことから、既存施設に対して利用定員の増加及び定員の弾力化による児童の受入れを要請する。

##### (ウ) 地域型保育事業による確保の考え方

3号認定の利用定員の不足が見込まれるため(▲29人)、教育・保育施設での利用定員の偏在解消による必要数の確保を基本としつつも、保育の質が確保された地域型保育事業によっても確保することとする。

## Ⅱ 区域ごとの確保方策

### (4) [浪岡]

#### ①量の見込み(女性就業率考慮後)と利用定員の比較

(単位:人)

区分	認定区分	H30				H31					
		再推計 児童数	認定再推計		再推計 児童数	認定再推計					
			号別人数	年齢別人数		号別割合	年齢別割合	号別人数	年齢別人数	号別割合	年齢別割合
量の 見込み	1号	680	15	554	2.2%	81.5%	668	16	566	2.4%	84.7%
	2号		323		47.5%			337		50.4%	
	3号(0歳)		29		4.3%			32		4.8%	
	3号(1・2歳)		187		27.5%			181		27.1%	
計画	1号(2号(★教育)を含む。)	739	40	654	5.4%	88.5%	732	40	649	5.5%	88.7%
	2号(☆以外)		327		44.2%			327		44.7%	
	3号(0歳)		74		10.0%			72		9.8%	
	3号(1・2歳)		213		28.8%			210		28.7%	
かい離 [合計 対計画]	1号(2号(★教育)を含む。)	59	25	100	3.2%	7.0%	64	24	83	3.1%	3.9%
	2号(☆以外)		4		▲ 3.3%			▲ 10		▲ 5.8%	
	3号(0歳)		45		5.7%			40		5.0%	
	3号(1・2歳)		26		1.3%			29		1.6%	
利用定員	1号	680	31	651	4.6%	95.7%	668	31	651	4.6%	97.5%
	2号		322		47.4%			322		48.2%	
	3号(0歳)		79		11.6%			79		11.8%	
	3号(1・2歳)		219		32.2%			219		32.8%	
かい離 [合計 対定員]	1号	-	16	97	2.4%	14.3%	-	15	85	2.2%	12.7%
	2号		▲ 1		▲ 0.1%			▲ 15		▲ 2.2%	
	3号(0歳)		50		7.4%			47		7.0%	
	3号(1・2歳)		32		4.7%			38		5.7%	

利用定員の総数は上回っているが、2号が不足

## Ⅱ 区域ごとの確保方策

### (4) [浪岡]

《参考推計 H38まで》

#### ①量の見込み(女性就業率考慮後)と利用定員の比較

(単位:人)

年齢	認定区分	H32										H33										H34									
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)								再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)								再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)										
			号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合			
量の 見込み	1号	627	16				2.6%					15				2.5%						15				2.6%					
	2号		328				52.3%				319				53.1%							304				53.4%					
	3号(0歳)		34	545		561	5.4%	86.9%		34.6%	89.5%	35	533		548	5.8%	88.7%		35.6%	91.2%	37	517		532	6.5%	90.9%					
	3号(1・2歳)		183		217		29.2%				179		214		29.8%							176		213		30.9%					
利用定員	1号	627	31				4.9%				31				5.2%						31				5.4%						
	2号		322				51.4%			103.8%	322				53.6%						322				56.6%						
	3号(0歳)		79	620		651	12.6%	98.9%		47.5%	103.8%	79	620		651	13.1%	103.2%		49.6%	108.3%	79	620		651	13.9%						
	3号(1・2歳)		219		298		34.9%				219		298		36.4%						219		298		38.5%						
かい離 [見込み 対定員]	1号	627	15				2.4%				16				2.7%						16				2.8%						
	2号		▲6				▲1.0%			14.4%	3				0.5%						18				3.2%						
	3号(0歳)		45	75		90	7.2%	12.0%		12.9%	44	87		103	7.3%	14.5%		14.0%	17.1%	42	103		119	7.4%							
	3号(1・2歳)		36		81		5.7%				40		84		6.7%						43		85		7.6%						

年齢	認定区分	H35										H36										H37									
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)								再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)								再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)										
			号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合		号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合			
量の 見込み	1号	550	13				2.4%				13				2.5%						12				2.4%						
	2号		295				53.6%			91.8%	284				53.6%						272				53.3%						
	3号(0歳)		38	492		505	6.9%	89.5%		35.8%	93.0%	40	480		493	7.5%	90.6%		37.0%	93.0%	41	467		479	8.0%						
	3号(1・2歳)		159		197		28.9%				156		196		29.4%						154		195		30.2%						
利用定員	1号	550	31				5.6%				31				5.8%						31				6.1%						
	2号		322				58.5%			118.4%	322				60.8%						322				63.1%						
	3号(0歳)		79	620		651	14.4%	112.7%		54.2%	122.8%	79	620		651	14.9%	117.0%		56.2%	122.8%	79	620		651	15.5%						
	3号(1・2歳)		219		298		39.8%				219		298		41.3%						219		298		42.9%						
かい離 [見込み 対定員]	1号	550	18				3.3%				18				3.4%						19				3.7%						
	2号		27				4.9%			26.5%	38				7.2%						50				9.8%						
	3号(0歳)		41	128		146	7.5%	23.3%		18.4%	39	140		158	7.4%	26.4%		19.2%	29.8%	38	153		172	7.5%							
	3号(1・2歳)		60		101		10.9%				63		102		11.9%						65		103		12.7%						

年齢	認定区分	H38																							
		再推計 児童数	認定再推計(女性就業率)																						
			号別 人数	2・3号	3号	年齢別 人数	号別 割合	2・3号	3号	年齢別 割合															
量の 見込み	1号	491	12				2.4%																		
	2号		262				53.4%																		
	3号(0歳)		42	455		467	8.6%	92.7%		39.3%	95.1%														
	3号(1・2歳)		151		193		30.8%																		
利用定員	1号	491	31				6.3%																		
	2号		322				65.6%			132.6%															
	3号(0歳)		79	620		651	16.1%	126.3%		60.7%															
	3号(1・2歳)		219		298		44.6%																		
かい離 [見込み 対定員]	1号	491	19				3.9%																		
	2号		60				12.2%																		
	3号(0歳)		37	165		184	7.5%	33.6%		21.4%															
	3号(1・2歳)		68		105		13.8%																		

H33には、現状の利用定員であって総数のみならず、認定区分ごとでも充足する見込み

### (4) [浪岡]

#### ②認定区分、施設・事業ごとの考え方

##### (ア) 基本的な考え方

教育・保育サービスの総量としては充足しているため、原則、教育・保育施設等の新規認可等によらず、

○施設整備(増改築)等による既存施設の利用定員の増

○利用定員の設定の適正化

により認定区分ごとの偏在を解消し、必要数を確保することとする。

##### (イ) 教育・保育施設等の利用定員の考え方

1号認定 利用定員が量の見込みを上回っている(+15人)がかい離が大きいことから、施設の入所動向に応じた利用定員の増減を認める。

2号認定 利用定員が量の見込みを下回っている(▲15人)ことから、既存施設に対して利用定員の増加を要請する。

3号認定(0歳) 利用定員が量の見込みを上回っている(+47人)ことから、施設の入所動向に応じた利用定員の増減を認める。

3号認定(1・2歳) 利用定員が量の見込みを上回っている(+38人)ことから、施設の入所動向に応じた利用定員の増減を認める。

##### (ウ) 地域型保育事業による確保の考え方

3号認定の利用定員の不足が見込まれないが(+85人)、必要に応じて保育の質が確保された地域型保育事業によっても確保することとする。

### Ⅲ 計画の補正(教育・保育)

教育・保育に係る計画の補正は、次のとおり量の見込み及び確保方策の数値を変更するほか、区域ごとの確保方策の考え方を追記する。

#### 【全域】

(単位:人)

補正前	平成30年度					平成31年度				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		★教育	☆以外	0歳	1・2歳		★教育	☆以外	0歳	1・2歳
①量の見込み	1,428	767	3,740	962	2,425	1,428	768	3,743	940	2,385
②確保方策	2,195		3,740	962	2,425	2,196		3,743	940	2,385
特定教育・保育施設 (確認を受けない幼稚園を含む。)	2,195		3,740	954	2,394	2,196		3,743	932	2,354
特定地域型保育事業				8	31				8	31
②-①	0		0	0	0	0		0	0	0
(参考)③利用定員	3,378		3,841	801	2,168	3,378		3,841	801	2,168
(参考)③-①	1,183		101	▲161	▲257	1,182		98	▲139	▲217

補正後	平成30年度					平成31年度					
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		
		★教育	☆以外	0歳	1・2歳		★教育	☆以外	0歳	1・2歳	
①量の見込み	1,842		3,856	531	2,525	1,746		3,930	570	2,545	
②確保方策	1,842		3,810	531	2,212	1,746		3,930	570	2,545	
特定教育・保育施設 (確認を受けない幼稚園を含む。)	1,842		3,810	528	2,196	1,746		3,930	548	2,475	
特定地域型保育事業				0	3	16			0	22	70
②-①	0		▲46	0	▲313	0		0	0	0	
(参考)③利用定員	2,591		3,810	841	2,212	2,591		3,810	841	2,212	
(参考)③-①	749		▲46	310	▲313	845		▲120	271	▲333	

増減	平成30年度					平成31年度				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		★教育	☆以外	0歳	1・2歳		★教育	☆以外	0歳	1・2歳
①量の見込み	▲353		116	▲431	100	▲450		187	▲370	160
②確保方策	▲353		70	▲431	▲213	▲450		187	▲370	160
特定教育・保育施設 (確認を受けない幼稚園を含む。)	▲353		70	▲426	▲198	▲450		187	▲384	121
特定地域型保育事業				0	▲15			0	14	39
②-①	0		▲46	0	▲313	0		0	0	0
(参考)③利用定員	▲787		▲31	40	44	▲787		▲31	40	44
(参考)③-①	▲434		▲147	471	▲56	▲337		▲218	410	▲116

#### 【量の見込みと確保方策の差】

利用定員の変更等は、前年度下期に行われるため、平成31年4月までに充足させることを目標とする